

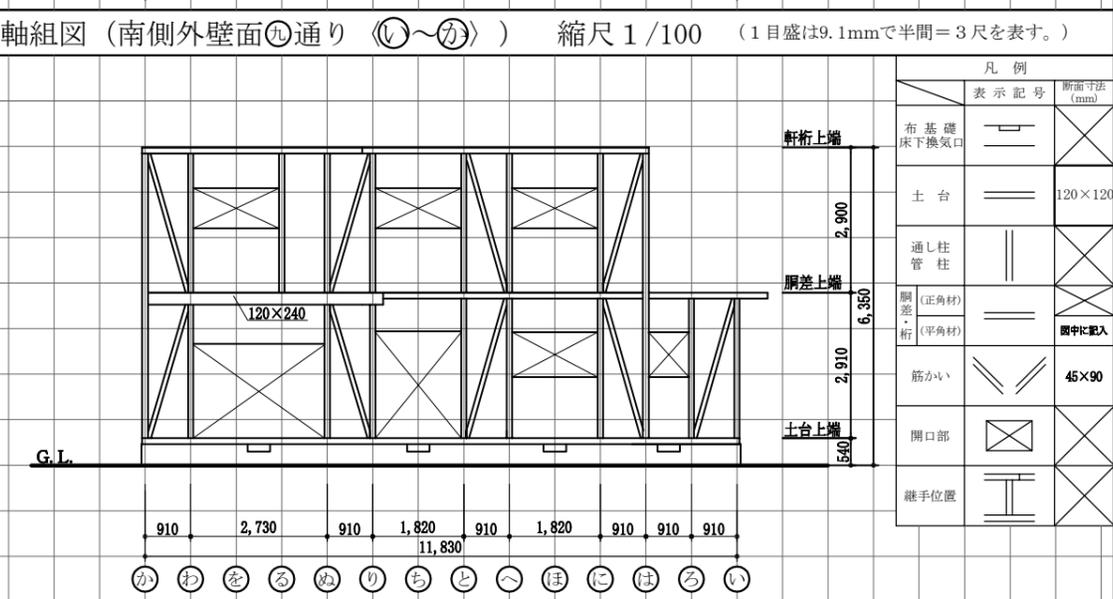
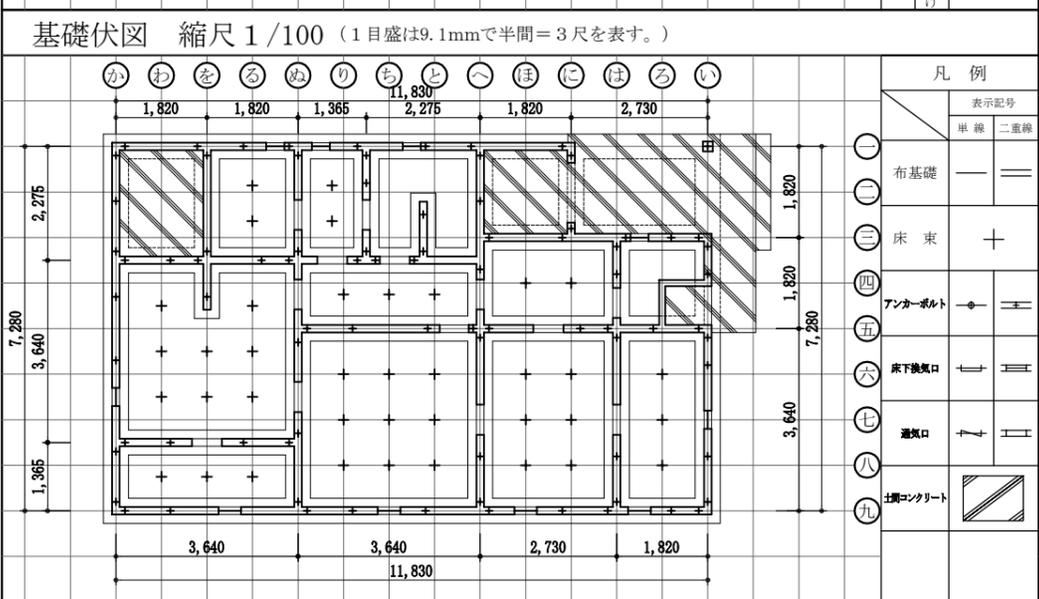
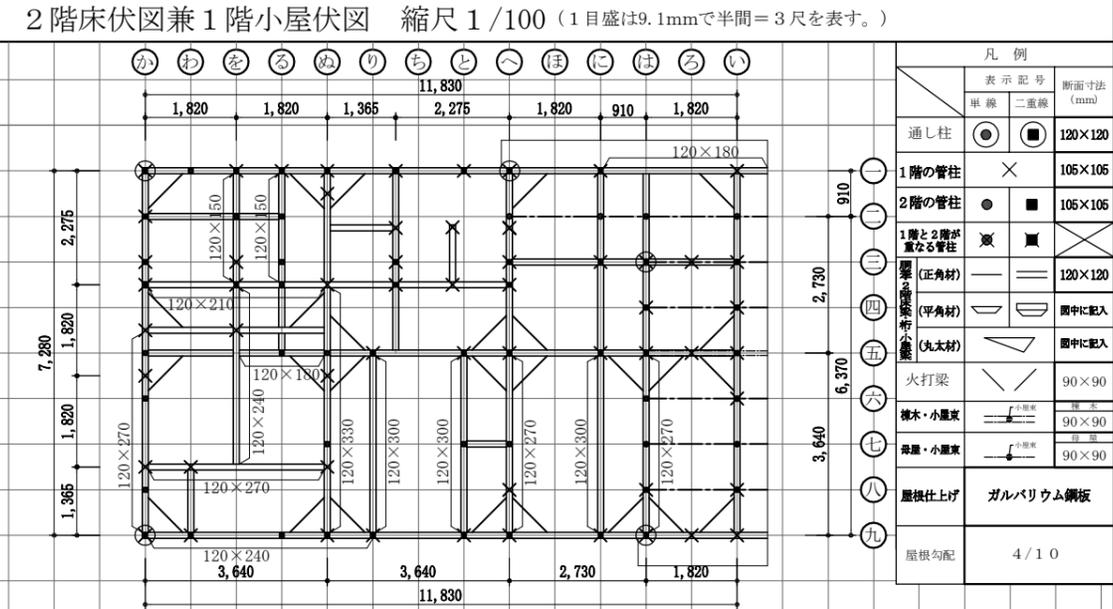
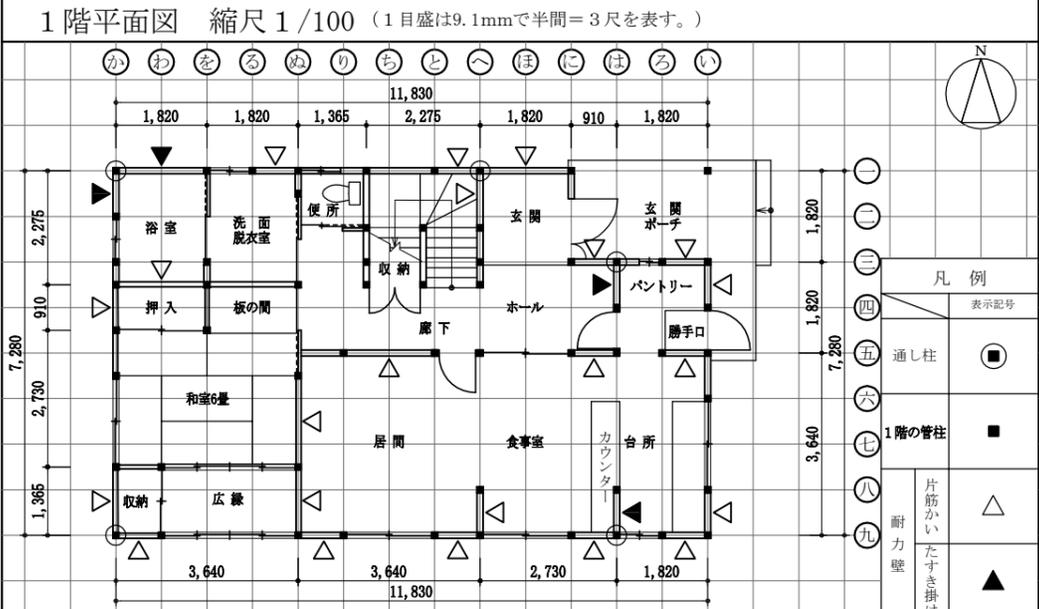
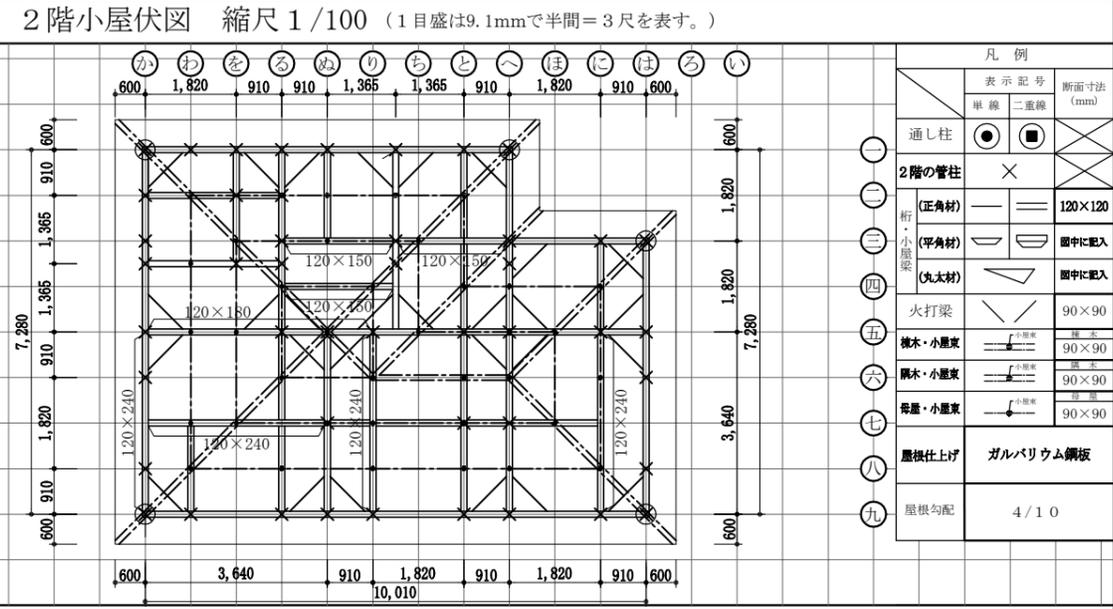
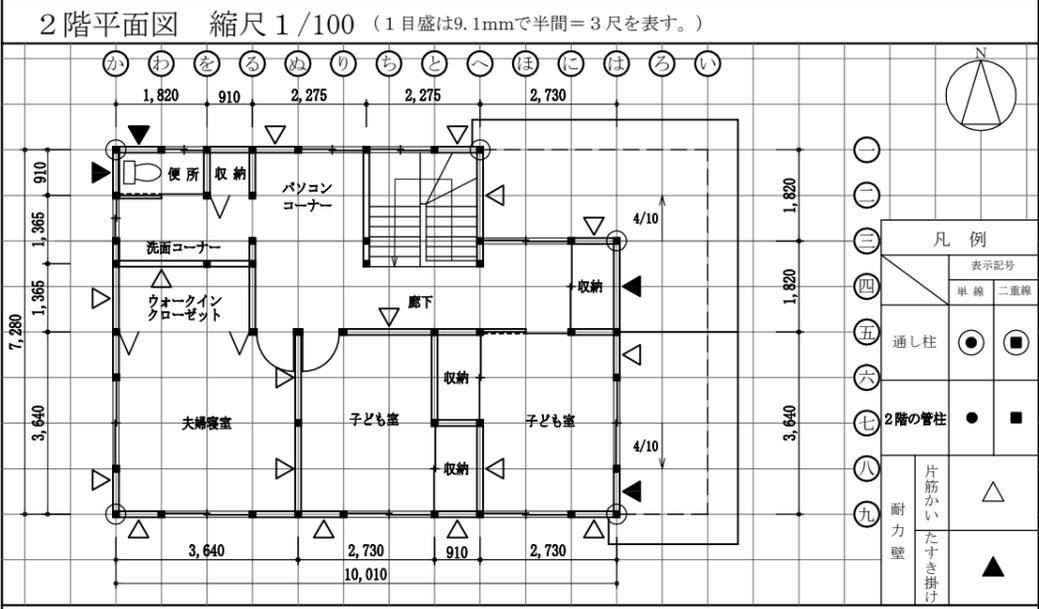
令和4年木造建築士試験 「設計製図の試験」標準解答例の公表について

令和4年10月9日（日）に実施されました標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

木造建築士試験は、建築士法第13条及び第15条の6の規定に基づいて、全国47都道府県の指定試験機関である当センター（理事長 井上 勝徳）が実施しています。

記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上の当センターのホームページ（URL <https://www.jaeic.or.jp/>）に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 柱杖^{はしらづえ}図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。



主要構造部材表 [木拾い書]

2階床伏図兼1階小屋伏図における胴差、2階床梁、桁及び1階小屋梁について、平角材、丸太材の木拾いを行い、下欄に記入すること。なお、正角材は木拾いを行わずによい。

部材名	断面寸法 (mm)			定尺長さ (mm)			本数			
	幅	高さ	長さ	幅	高さ	長さ	幅	高さ	長さ	
胴差	120	x	330	6000	1	120	x	240	4000	1
	120	x	300	4000	3	120	x	210	4000	1
2階床梁	120	x	270	5000	1	120	x	180	4000	1
	120	x	270	4000	3	120	x	180	2000	1
桁	120	x	270	4000	3	120	x	150	3000	2
	120	x	240	5000	1	120	x	150	3000	2

標準解答例

- 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上のセンターのホームページ (URL <https://www.jaenic.or.jp/>) に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
- 柱杖図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。